

開講科目名	プログラム講義宇宙法政策模擬交渉		
担当教員	高屋 友里	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

本講義は、各国の宇宙活動に関する宇宙法政策を概観するとともに、宇宙活動に関する重要なテーマを英語で議論し、多様な国際場面に応用できる交渉スキルの習得を目的とする。

授業の概要と計画

本講義では、各国の宇宙法政策について基礎知識を得るとともに、宇宙活動に深く関わるテーマおよび2015年10月上旬に開催される宇宙世代会議（Space Generation Congress）で扱われるテーマについて英語で議論する（実際に同会議に参加する可能性もあります）。授業の前半（20分）は宇宙法政策の基礎講義、後半（70分）は各週のトピックについて英語で議論し、最終的に意見をまとめる作業を行う。

- [1] 宇宙法政策（概論）＋調査・分析方法のガイダンス
- [2] 米国の宇宙法政策/議論テーマ「宇宙活動はすべての国家がするべきか」
- [3] ロシアの宇宙法政策/「国費で月や惑星に人を送るべきか」
- [4] 日本の宇宙法政策/「宇宙活動で求められるリーダーシップは地上と同じか」
- [5] カナダの宇宙法政策/「宇宙活動における国際協力から得られる利益はあるか」
- [6] 欧州の宇宙法政策（ESAとEU）/「宇宙活動が及ぼす外交上の利益はあるか」
- [7] 欧州の宇宙法政策（仏）/「Google Earthによる画像公開に国際規制は必要か」
- [8] 欧州の宇宙法政策（英）/「アジア太平洋で宇宙活動における協力は可能か」
- [9] 欧州の宇宙法政策（独）/「教育機関による超小型衛星の打ち上げは規制すべきか」
- [10] 中国の宇宙法政策/「惑星を破壊する兵器は必要か」
- [11] 韓国の宇宙法政策/「国家は宇宙技術を輸出すべきか」
- [12] 国際機関の宇宙活動（1）：UNESCO/「衛星放送で途上国の教育普及は可能か」
- [13] 国際機関の宇宙活動（2）：ITU/「宇宙衛星通信に対するサイバー攻撃は規制可能か」
- [14] 国際機関の宇宙活動（3）：ICAO/「公海上における衛星打ち上げ活動は規制可能か」
- [15] 予備

※Space Generation Congress 2015で扱うトピックが発表され次第、議論テーマを変更する可能性があります

成績評価と基準

事前準備をもとにした議論・報告を基礎に評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

★文科省特別経費「シチュエーションナルトレーニング・プログラム」指定授業です。

オフィスアワー・連絡先

・授業初回で提示します。

学生へのメッセージ

限られた時間内で柔軟に議論を展開し、意見をまとめ、プレゼンするスキルを要する「英語交渉力」は国際会議だけでなく、ビジネスにも広く応用できます。宇宙空間という特殊な環境での活動に適用される法政策を学び、宇宙プロジェクトの最新動向を押さえながら、実際に使える知識と応用力をぜひ習得しましょう。

今年度の工夫

教科書

・授業初回で提示します。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語と英語

キーワード

宇宙法政策